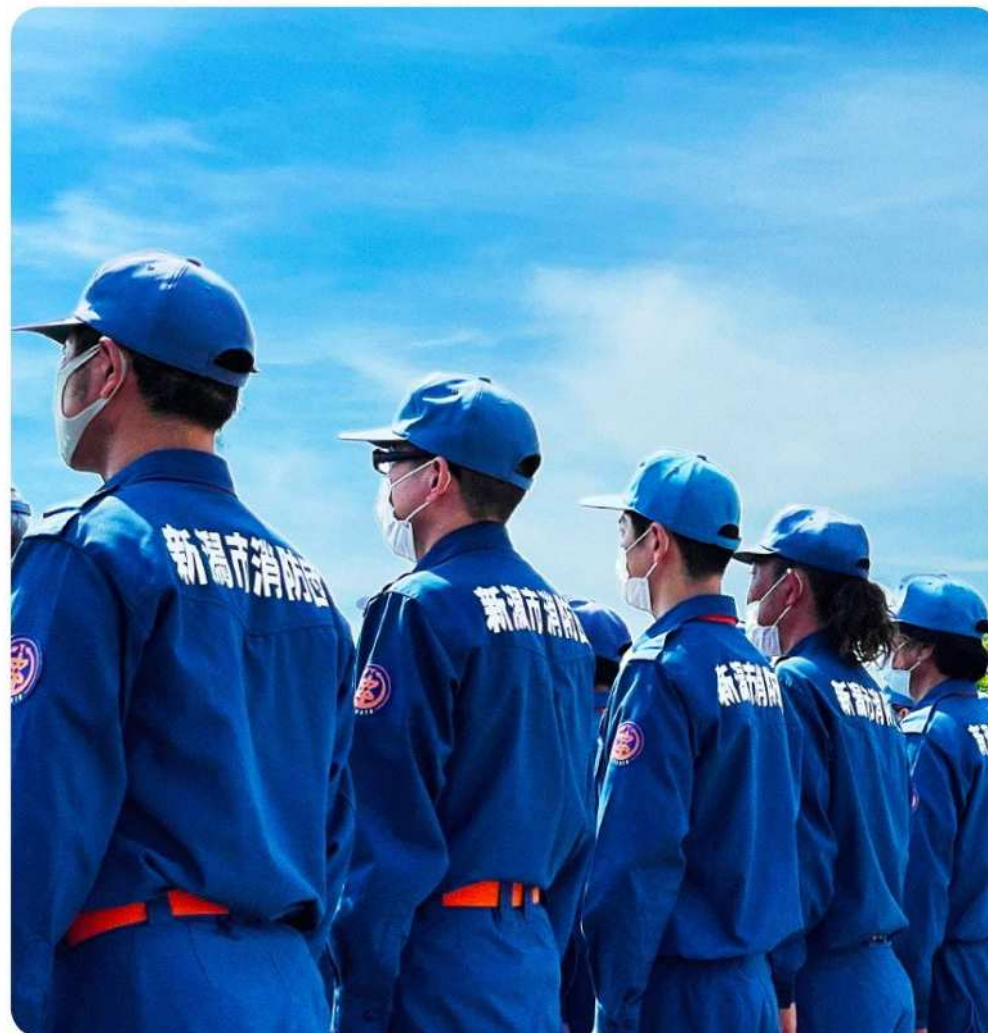




ひ組

新潟市消防団東方面隊の広報誌

第16号



幼児防火教育は ひまわり隊にお任せください!

ひまわり隊は児童向けに防火教育を行っています。



児童向け

保護者向け

- ① 防災クイズ
- ② 水害の怖さについて
- ③ 「おはしもて」のお話
- ④ 防火・防災についての紙芝居
- ⑤ シーツを使用した火災時の避難方法
- ⑥ 誤飲・火傷等の対処について
- ⑦ 防災豆知識
(座薬の入れ方・身近に生えている危険な植物等)
- ⑧ 家庭で起こる子供の事故対策
- ⑨ 子供を守る家の中の安全対策

お問合せ

新潟市東消防署 地域防災課 消防団係

[TEL] 025-275-9111 [MAIL] chiiki.efs@city.niigata.lg.jp

出動した建物火災(令和4年)

2月	東明4丁目	石山分団管轄
3月	空港西2丁目	山の下分団管轄
8月	本所1丁目	大形分団管轄
12月	豊1丁目	木戸分団管轄



火災原因とその予防策

- 1 タバコ: 灰皿に水を入れる。灰皿に吸い殻を溜めこまない。
- 2 暖房器具: 消火してから給油。近くに可燃物を置かない。
- 3 コンセント: タコ足配線をしない。コンセントの埃を取る。

防災豆知識

緊急地震速報を見聞きした時の行動

- 1 大きな家具から離れ、丈夫な机の下などに隠れる。
- 2 扉を開けて避難路を確保する。
※あわてて外に飛び出さない。
- 3 料理など火の使用の際は、無理をせず、消火が可能な場合のみ消火する。



新入団員(令和4年5月~8月入団)

石山分団 特1班	新木 琉世
ひまわり隊	菅原 侑愛
山の下分団	三宮 知巳
木戸分団 第3班	石山 学
木戸分団 第5班	戸田 航太



計5名

新潟市消防団東方面隊広報誌「ひ組」第16号
 (編集委員) 熊谷芳博 古源義道 鷲津雄一 小野木信子
 渡邊愛子 田中郁子 山田麻紀 阿部真紀 渡邊和美
 三國靖子 上出裕香 鈴木和美 雪井美由希 永田裕子
 村上なざさ 山賀恵香 菅原侑愛
 (編集発行) 新潟市消防団東方面隊本部 〒950-0871
 新潟市東区山木戸1丁目1番20号 新潟市東消防署地域防災課
 TEL: 025-275-9111 / FAX: 025-270-0119

消防団員募集中! 東方面隊の活動を掲載しています!

http://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/bohan/shobo/syokai/shinai_syobo/shobo_higashi/homentai.html





新潟市消防団
東方面隊

団員のインタビュー



日頃活動をしている団員に聞いてみました。

- 1 消防団に入ったきっかけは？
- 2 入団前後での印象の変化
- 3 入団後に感じたこと
- 4 家族の反応

阿部 班長 所属：石山分団第3班 / 拝命11年目

建設業

- 1 消防団員をされているパパ友からの紹介で入団しました。

入団前：何の活動をしているか分かりませんでしたし、
消防署がある地域には無いものだと思っていました。

- 2 入団後：災害以外でも防火広報や啓発活動等、様々な活動がある事がわかりました。



- 3 消防団は多様な活動をしていると思いました。
また、地域の方達と接する機会も沢山増えたので、
入団前には無かった地域の事柄への関心も増えました。

- 4 消防団活動で家を空ける機会が増え、子供も幼かった事もあり、
入団直後は大変な事もありましたが、活動を続けていく中で、
徐々に家族の考え方も変わり、今では理解してくれています。



菅原 団員 所属：ひまわり隊 / 拝命1年目

学生

- 1 地域イベントで、ひまわり隊の広報活動を見て、消防団に興味を持ったのがきっかけです。



- 2 入団前：防災活動に携わる、頼れる方達という印象でした。
入団後：明るく気さくな方達が多く、笑顔で話しかけてくれます。

- 3 応急手当指導員講習会や訓練等、様々な活動を通して幅広い年代や職種の方と関わり、
新しい知識を得ることが多く、日々自分の成長を感じることができて、とても楽しいです。

- 4 団員にしかできない経験を多く積んで、少しでも地域や社会に貢献して欲しいと言われていました。



新入団員募集中!!

— 地域の安全・安心を守る。あなたも東方面隊に入りませんか。 —

新潟市東消防署 地域防災課 消防団係まで

〒950-0871 新潟市東区山木戸1丁目1番20号

[TEL] 025-275-9111 [MAIL] chiiki.efs@city.niigata.lg.jp

お問合せ

三宮 団員 所属：山の分団 / 拝命1年目

建設業

- 1 勤務先の会社が、「消防団協力事業所」を目指している事から、
私も地域貢献の一端を担いたいと思いました。

- 2 入団前：縦社会で規律が厳しく、訓練等について行けるか不安でした。
入団後：厳しい、きついという印象はなく、地域の方達と触れ合う機会が増えて充実しています。



- 3 火災発生時のみの活動だけではなく、
様々な災害に対応する訓練であったり、車両、装備の点検・整備、広報活動等、
地域の安全・安心を守る為に様々な活動をしていると感じました。

- 4 直ぐに辞めてしまっ、分団に迷惑をかけたり、
年齢や体力的なことで心配していましたが、
私が生き生きと活動しているのを見て、今では応援してくれています。



新木・真田 団員 所属：石山分団特1班 / 拝命1年目

学生

- 1 二人共、消防士を目指していて、消防団活動も経験したいと思い、誘い合って入団しました。

- 2 入団前：消防団は火災現場で、消防士のお手伝いをするだけだと思っていました。
入団後：地域を守りたいと強い気持ちで、活動をしている先輩団員が多い印象でした。

- 3 放水訓練や点検・整備、広報活動等、日常ではできない体験ができて、
とても良い経験ができています。

- 4 地域貢献の観点から、消防団活動への理解があり、応援してくれています。



令和4年度

主な年間活動

コロナ禍でも徐々に、
活動を始めました。



阿賀野川・早出水防訓練



新潟市消防団消防総合訓練



ひまわり隊・応急手当研修



山の下・石山分団 秋季合同訓練



機関研究会講習会